

「手による道具操作における視覚－固有感覚情報統合のメカニズム」

講師： Miya K. Rand 氏（本学卒業生）

米国アリゾナ州立大学健康ソリューション学部 非常勤講師

リーチング動作は、手をターゲットに向かって動かし、正確に接触させる運動であり、スポーツではラケットやバット、職場ではコンピューターのカーソル操作など、道具を用いる場合も多くある。脳は、この動作中に手の動きを感じる固有感覚と視覚フィードバックを統合し、手や道具の位置を推定するが、その精度は動作の成否に深く関わっている。本セミナーでは、脳がどのように多感覚情報を統合して位置推定の精度を高めるかを解説し、手の位置の潜在的知覚と顕在的知覚の違いや、視覚運動変換学習による知覚の変化についての研究結果を紹介する。

日時：令和6年11月13日（水） 16：30－18：00

場所：N202教室

世話人：生活環境学部心身健康学科スポーツ健康科学コース 藤原素子